

萩 ネットワーク

第 30 号 1999 年 11 月

発行：萩ネットワーク協会

〒 758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

T E L 0838 - 25 - 3131 F A X 0838 - 26 - 5458

萩市ホームページ <http://www.urban.ne.jp/home/hagicity/>

10月24日、「松陰の道歩行大会」が、萩市内の名所・旧跡で開催されました。これは吉田松陰没後140年記念事業の一環で、旧明倫館跡、松陰先生講学の跡、野山獄・岩倉獄跡などを巡り、自ら信じる理想に向かって行動した松陰と塾生たちを偲びました。

現在の明倫小学校の敷地内に藩校明倫館の兵学教室があり、松陰は2年間この教室で兵学を教えました。その側に藩政時代、遊泳術・水中騎馬が行われた明倫館水練池があります。これは、藩校の水練池で現存する唯一のものです。

松陰の道歩行大会と 明倫館水練池



萩焼 400 年パリ展、「蒼天の夢」萩口ケ・・・P 2～3
はぎ・なんでも日本一⑨・・・P 3
吉田松陰と毛利敬親 最終回・・・P 4～5
ズームアップ 大石岩男さん・・・P 5
市民基金を創設、萩国際大学の学生募集・・・P 6
萩市民病院に電子カルテ導入・・・P 7
博物館閉館し移転新築へ、会津探訪の旅・・・P 8
同窓会だより・・・P 9

目次

姉妹都市との交流、萩おもてなし大賞・・・P 10
萩市共通商品券の発売・・・P 11
イベントプレイバック・・・P 11
夢道人 中原憲明さん・・・P 12
年賀状に見島の鬼ようず、「わたしの見島」公開 P 12
萩 芸術・文芸の広場・・・P 12～13
情報アラカルト・・・P 14～15
幕末・維新こぼれ話・・・P 16

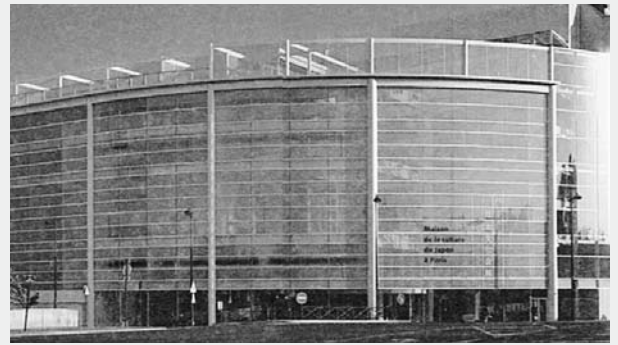


左から高嶋政伸さん、中村橋之助さん、野村萬齋さん

2000年秋、 パリで萩焼展

名品150点を展示、海外では初!

萩焼が始まってから400年を迎えるのを記念し、2000年秋、パリで展覧会を開催することが決定しました。



パリ日本文化会館

この展覧会は、16世紀末の萩焼の始まりから現代までの間に、世に送り出された名品約150点を展示し、400年の歴史を振り返るものです。萩焼の本格的な展覧会が海外で開かれるのは初めての試みです。

開催場所は、エッフェル塔に近いセーヌ河畔にある、総ガラス張りの地上6F、地下5Fで、6Fには本格的な茶室もあるパリ日本文化会館で、展示のほか、萩焼を使った茶会も開く予定です。

この事業は、山口県が2001年に開催予定の「21世紀未来博覧会」(山口きらら博)の協賛事業にもなっており、パリ展後には、山口きらら博のPRも兼ね、国内巡回展も開催されます。

海外での萩焼紹介の歴史としては、1900年のパリ万国博で、ジャポニズムが脚光を浴びる中、日本からも陶磁器の代表作品が展示され、その中に9代坂高麗左衛門の作品も出品されています。

なお、今回の萩焼展開催の背景としては、日仏間の国家レベルの文化交流であるフランスにおける日本年(97年度)、日本におけるフランス年(98年度)の実施や、パリにおける総合的な陶器展として楽展(97年秋、備前展(97年秋)の開催などがあります。フランスにおける日本陶器への関心が高まりつつある中で、400年の歴史を持つ日本の代表的な陶器の一つである萩焼展の実施は、実に機を得た企画であると言えます。

折しも、同時期(2000年秋)に、英国ロンドンの大英博物館において、「佐賀県陶芸展」も開催され、ヨーロッパでの日本陶器ブーム到来と言った期待も出来ま

■萩焼400年パリ展の概要

開催時期 平成12年(2000年)10月5日~11月予定
開催場所 パリ日本文化会館(国際交流基金所管)
主催 国際交流基金、山口県、萩市ほか関係市、朝日新聞社(関係団体による実行委員会を組織)

蒼天の夢〜松陰と晋作・新世紀への挑戦〜

吉田松陰生誕170年目の2000年の年頭を飾るNHK正月時代劇として、「蒼天の夢」が全国放映されます。

この時代劇は、混沌とした幕末に「外庄に屈することなく、社会を変えることができるのは、古い因習の殻を破り、新たな行動を起こすこと」と考え、実践した吉田松陰と高杉晋作を描いています。出演は、松陰に歌舞伎界のプリンス中村橋之助さん、晋作に狂言界のホープ野村萬齋さん、伊藤博文に演技派俳優の高嶋政伸さんな

ど、大変豪華なキャストとなっています。

10月中旬には、松下村塾や熊谷家住宅などでロケが行われ、約170名の応募者から選ばれた21名の市民エキストラも出演しました。

出演者から...

■中村橋之助さん

松陰は私にとって時代的にも遠い存在で、演じるのが難しい。また、萩に来て松陰に関わるものが

あまりに多くて、大変さを実感している。今の世の中に訴えかけるものがあるので、ぜひ多くの方に見てほしい。

■野村萬齋さん

原作を読み、晋作の人柄が大変おもしろく、惹かれている。侍でありながら奇兵隊をつくる、その激しさや度胸を、骨太に、男っぽく演じている。ばらばらだった人間が、松陰によってまとまっていく青春群像。素敵なおドラマになるのでは。

NHK正月時代劇
蒼天の夢
〜松陰と晋作・新世紀への挑戦〜

放映予定日 平成12年
●ハイビジョン11月1日(土)
●総合テレビ11月3日(月)
原作 司馬遼太郎「世に棲む日」より
出演 中村橋之助、野村萬齋、高嶋政伸、関口知宏ほか



今年の秋時代まつりポスター

秋周辺の山々が紅葉で秋の色に染まる中、伝統の秋・大名行列をメインに「秋時代まつり」が開催されます。皆さんも、ふるさとの秋の風物を肌で感じてみませんか。

■秋民踊「男なら」披露・岩国藩鉄砲隊実演

ススキに彩られた秋城跡をバックに、秋民踊「男なら」の披露。岩国藩鉄砲隊の実演が行われ、秋時代パレードの出陣を飾ります。

とき 11月14日(日) 午前10時

■秋時代パレード

秋・大名行列を始め、市内外の団体が御許町から市民体育館までパレードします。

今年は、阿武郡阿東町から生雲八幡宮双道中も参加し、江戸時代の歴史絵巻をさらに盛り上げます。

とき 11月14日(日) 午後1時

御許町市民体育館

■秋時代パレード演技披露

パレードが市民体育館に到着すると、演技などが披露されます。

とき 11月14日(日) 午後1時

■秋写真コンテスト作品展

「歴史のまち秋」を全国で紹介し、宣伝し、新しい秋の魅力を発掘するために、1年間かけて募集した秋写真コンテストの作品を展示します。

とき 11月13日(土)・14日(日) 午前10時～午後5時

※14日は午後4時まで

秋市民体育館
問い合わせ 秋市観光課
(0838)25-3131 内線
275) へ

秋の萩焼まつり

萩を代表する工芸品萩焼は、「一楽・二萩・三唐津」といわれ、全国でも三つの指に数えられる茶陶として有名です。

高価なイメージのある萩焼を身近に安価で購入できる機会として、田町商店街の空き店舗を利用した「秋の萩焼まつり」が開催されます。

とき 11月19日(金)～23日(祝) 午前9時～午後5時

田町商店街

■内容

- 萩焼の展示即売会
- 萩の物産展「秋うまいもん市」
- ウィンドー・ミュージアム
- 切り絵作家 上田豊治の切り絵展
- 「酒道場」(地酒試飲即売)
- 「七彩会」藍染め展
- 萩焼似顔絵コーナー
- 萩焼コーヒーショップ
- 竹細工展示即売



昨年の秋の萩焼まつり

第9回 笠山の珍しいシダ類

はな なんとでも日本一!

笠山は冬でもめつたに雪が積もらない暖かいところです。そのため、暖かい地方で多く見られる植物(暖地性植物)が自生し、分布の北限となっているものも多数あります。しかし、山の高さから冷たい風が吹き出す風穴があり、その周りでは夏でも涼しく、寒い地方で生育する寒地性植物も見られます。

シダ植物のオシダ科イノデは暖かい地方で生育し、萩市内では普通に見られるシダのひとつです。葉の付け根の様子が猪の手のようなことからその名がつけました。同じ属のホソイノデは、本州中部以北で見られる寒地性シダで、中国地方では鳥取県の大山とここ笠山にしか見られません。笠山では風穴の最も涼しいところにホソイノデが、風穴から1mほど外れたところにすぐイノデが見られます。通常、暖地性と寒地性のものがごく近いところに生えているということはありませぬ。

さて、イノデの仲間には雑種を作りやすいことで知られています。欧米では、種の分化の研究のために、研究室内でイノデの仲間の雑種を作り出し、詳しく調べられています。カタイノデ

という種とホソイノデとの人工雑種は、すでにイギリスで作られていますが、ここ笠山では自然にできた雑種が発見されています。双方の名前をとってカタホソイノデと名づけられています。また、イノデとホソイノデの雑種も発見され、自生地の名をとって、カサヤマイノデと名づけられています。これらの2雑種は、暖地の中に風穴があり、寒地性植物が生育しているという稀有な場所である笠山ならではの現象であり、これから先も自然の状態では、笠山以外で見つけることは無いでしょう。



カサヤマイノデ、カタホソイノデの生育地

吉田松陰と毛利敬親 最終回



伝馬町牢跡に立つ「松陰先生終焉之地」碑と辞世の歌碑（東京都中央区・十思公園）

一死、積もる重罪を謝す

松陰・吉田寅次郎は安政6年(1859)10月27日、安政の大獄に連座し、江戸・伝馬町牢で斬首された。享年30歳。幕府は罪状に幕政批判などもあげていたが、主たる罪は問われないのに自白した老中間部詮勝の暗殺計画だった。判決はその犯行が「一死殉国の心得を以て」行われようとしたことを認定した。

これが松陰の自供だが、一面から見れば、この暗殺計画も陳述も、松陰が藩主毛利敬親の長年の愛顧に報い、重ねた上書の罪を謝すため死にいそいだとも言えるのである。

上書で藩に幕府の討滅を迫る

前回、松陰の上書について敬親が「禁じたら寅次郎は気が狂ってしまうかもしれない。言いたいことはみな言わせてやるのがいいのだ」と家老に指示、松陰が感涙にむせんだ話を書いた。その上書が一段と過激になるのは、安政5年6月に幕府が天皇の勅許を得ないまま日米修好通商条約に調印したことを知ってからだ。

西洋列強への対応を幕府に任せていたら、日本は「外夷の属国になり、皇国の滅亡は必至」と強い危機感をもつ松陰。彼はまた骨の髄からの尊皇家だったので、この幕府の背信で頭に血がのぼる。

「これ徳川將軍の罪にして、天地も容れず、神人みな憤る。討滅誅戮していいのだ。少しもゆるしてはならない。將軍は天下の賊なり」

7月13日付の上書「大義を論ず」には凄まじい文句が並び、この天下の賊を長州藩・毛利家が討たねばならない、と藩主に迫った。

なぜ長州藩なのか。松陰はいう。「試みに洞春公(毛利元就)をして今日に生まれしめば、其れこれを何とかいわん」。元就は一國の賊だった陶晴賢を討った、いわんや天下の賊をや。いま勤皇の名家たる毛利が將軍を討たなかったら、天下万世長州のことを何というだろう。

恐るべき正義であり、論理の飛躍である。

上書と決起の画策かさね罪つもる

意見書は藩政をうごかす大臣にも出されるが実にきびしい。天下の情勢判断や藩としての政戦術を示すだけでなく、その体制づく



つけ、尻をたたいているのだ。いわゆる諫言で、封建の世のルールとモラルに外れているのだから命がけだ。上書の終わりに「忌諱を憚らず申し上げ候。死罪死罪」とか「万死を顧みず申し上げ候」などと書くたびに罪は積み重なっていった。松陰がいくらしゃかりきに言いたてても、長州藩がそのとおりに動けるはずはない。それが彼には、ためらいや様子ながめとしか映らず、ついには自ら次々と決起策をたて門下生たちに檄を飛ばすのだ。

松陰が諸悪の元凶と思いついた紀州藩付家老・水野土佐守の暗殺計画、伏見奉行所の獄舎破壊策など、わずか8か月の間に7件に及んだ。冒頭にふれた閣老問部の要撃策はその最たるもので、血盟の同志17人をえて彼は藩重役に大砲など武器の貸与を願い出る。驚いた藩政府は安政5年暮れ、松陰を再び野山獄に入れた。彼は狂するがごとくなほ他の策をねつた。

藩主のこの在国中に一死をと焦る

なぜ、松陰ひとりがかそんなにもせわしなく焦っていたのだろうか。

翌年2月、高杉晋作への手紙にその訳を書いている。「あまつさえ又々、(藩公の)恩旨をこつむり候ことどもあり、昨年よりきつと志を立て、当ご在国中にはぜひ一死を遂げ、積もる重罪の御申し訳つかまつるべくと存じ候ところ、又死にそこない……」

又々こつむった恩旨とは、藩主敬親が特別の慈愛をもって上書を許したことだが、松陰は今回の敬親在国中、すなわちこの年3月までと期限を切って、つもる報恩と謝罪のため何事かをなして死すべしと決めていたのである。

死にそこなつた松陰にとっては、自分の江



終生、松陰を見守りつづけた毛利敬親(『忠正公勤王事績』より)

二人の心は通じていた

戸送りの命令は一つの機会を与えられたことにもなった。幕府評定所への出頭を前に最後の書で言っている。「これまでご厄害をおかけしてきた償いに、今度こそ幕府の法廷で天下の大義を堂々と主張する覚悟です」

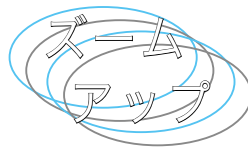
そして、死刑を覚悟しての手紙に書く。「海外渡航失敗の後、幽囚せられて国にあり、しかも吾が公眷顧(ご愛顧)衰えず。これ今日よりしく吾が公のために死すべき理由なり」

松陰刑死後の12月16日、敬親は左近衛権中将という歴代藩主でない昇進をした。藩邸中が「おめでたい、おめでたい」と沸き返っている

敬親ひとりが思いに沈み「今日は寅次郎の49日にあたるが、誰かたむけに人をやった者はいるか」と言い出し、左右は肅然としたという。

吉田松陰と毛利敬親。二人は身分・立場のちがいを超えて励みあい、心は通じ合っていたのだから。(おわり)





元日本ビクター(株)営業部長

大石岩男氏 (萩高9期卒)

今回は元日本ビクターマルチメディアソリューション事業部営業部長の大石岩男さんに、自身の歴史の原点である萩について思い出をまじえて、熱く語っていただきました。

りへ人事にも注文をつける。具体的な役目と人名をあげ、あれは駄目、これも劣ると批判する。「小生は罪人、国事を言うべき身ではないのだが」といいながら結局、藩主と藩重役を叱り



吉田松陰木像 (京都大学付属図書館蔵。写真は海原徹京大名誉教授提供)

もの。陰ながら萩のPRに一役奮闘。やはり萩への拘りである。

ゴミの無い町萩に拍手を

今年の夏は独り暮らし(田万川町在住)の老母(87歳)看護の為45日間帰省。萩にも数回訪れる機会があった。大きな「萩の光も」を発見し、その見事に驚いた。「ごみゼロ宣言」の看板に偽りは無かった。市内の至るところ隅々までゴミやポイ捨てはついに見られなかった。市民と行政が一体となって定着している。萩市民一人ひとりの意識の高さと実行力に拍手を送りたい。ゴミ環境で悩む大都会に声を大にして「萩の矚けの良さ」を発信して欲しい。都会では自動販売機が氾濫、その利便さが禍するのか、主要環状道の中央分離帯、空き地、歩道や電車の中等、辺り構わずの「ポイ捨て」が横行している。ゴミの無い萩のキレイさを学んだ夏の帰省であった。

元気で頑張っています

昨年11月、37年間勤めた会社を

※来年は品川弥二郎の没後100年にあたります。松陰に最も愛され、幕末・明治と多方面に活躍し、偉ぶらず生きた生涯を紹介します。

元毎日新聞編集委員 北村 知紀

自分史の原点「萩」

中学校を卒業し親元を巣立つ時「高校までは出してやる。その先は自分で自分の道を拓け」農業一筋の父との約束であった。小学校時代から憧れた萩高入学、そして親離れの下宿生活がはじまった。水車筋の藍場川が角曲った(今



は萩工高が隣接)ところの大きな門構えのある家であった。その門の木戸を開ける度に貧農の3男坊が、まるで藩士の子供に生まれ変わった様な気分以北校舎に通学した。新聞部の広告係で、田町商店街や方々を駆けずり回った。あの当時に営業マンの素質を錬磨して貰ったのか・・・?

高3の時進路を左右した想い出がある。就職の2次試験日と秋の大運動会が重なり、2次試験を辞退。職員室で担任の先生から「君にとってどっちが大事か?」と絞られた。でも躊躇なく「運動会運営の責務を果たします」と答えた。周田は大学受験の猛勉強中、のんびり構えていた私は皆が

担いだ神輿に乘せられて生徒会役員に当選していたのである。無事運動会も終了、体育の山県先生から「近來稀に見る出来映えであった」と労われ溜飲を下げた。その後学校幹旋の就職試験はすでに終わっていたように思う。敢えて「苦集の道」の選択をした自分に悔いはなかった。卒業後下宿先の縁故を頼って上京、もう後へは退けない思いであった。まさに「男子志を抱いて郷関をいづ」であった。「自分史の原点は萩」であり、「萩」の何もかもがプラスの潜在意識となっている。

萩を知り尽くすには短い3年間であった。幕末維新の歴史探訪や萩の現・近未来情報満載の「萩ネットワーク」のお陰で萩を学び、萩の「元気度」に触れ、「萩を知る」のが楽しみで毎号愛読中である。人に「出身地は?」と尋ねられると「長州の萩です」と答えている。

私のカラオケの18番は「吉田松陰」一筋。同期の陽(前教育長)氏の歌唱を真似て前奏、間奏に「松陰先生の句」を挿んで唄うと絶賛

暮らしている。「こころのふるさと萩」の益々元氣な発展と、郷里で暮らす老母や友に会える、またの帰省を楽しみに!

プロフィール

昭和32年萩高等学校卒業、昭和37年明治大学第二法学部中退、同年日本ビクター(株)入社、マルチメディアソリューション事業部営業部長を最後に平成10年11月退職(現(株)ナップデジタルコミュニケーションズ顧問、(社)神奈川県経営管理センター公認経営コンサルタント)

萩国際大学の留学生を支援しよう

「市民基金」創設へ

今春、開学した萩国際大学の留学生支援などのために萩商工会議所（山縣第一会頭）が、「はぎ大学支援市民基金」の創設へ動きだしました。

今年、萩国際大学に入学した学生は204名、このうち45名が中国、韓国、シンガポール、バン格拉デシユからの留学生です。全員が、私費留学で、母国と比べ、所得水準や物価格差があり、アルバイト先も少ないことなどから厳しい生活を余儀なくされています。

そこで、萩を第二のふるさととして、学生生活を有意義に送ってもらえるよう、また、国際親善、友好交流の観点から、地域を挙げて支援しようと基金創設へ向けての募金の呼びかけが開始されましたので、次のとおり紹介します。

■市民基金の運営

この市民基金は、市民、企業、団体等からの寄付金をもとに、公益信託制度を活用し、資金の管理・運用は山口銀行に委託します。助成先や助成金額は、公共団体などの役員、学識経験者で構成する運営委員会が決定します。

■予定事業

●地域と大学との交流事業に係

る費用の支援

- 留学生への奨学金の支給
- 留学生が快適な生活を送るための経済的援助
- その他目的達成に必要な事業への支援

■寄付のお願い

当初は、1000万円の基金額を目標に寄付を募ります。以後は、基金を運営維持するため、毎年、年費的に寄付を募ります。

この市民基金は、市民や企業・団体等の協力により支えられるものです。

また、広く市外の方からの寄付もお願いしています。

■定額寄付

年費的に、1口以上の寄付を毎年、継続的にお願いするものです。

- (1)個人 1口3000円(年額)
- (2)企業・団体等 1口1万円(年額)

※平成11年度の定額寄付受付は、第1次期限が11月30日です。

※来年度以降は、振込用紙等と同封のうえ、改めて寄付のお願いをする予定です。

■任意寄付

金額の多少にかかわらず、随時寄付を受け付けるものです。問い合わせ先にご照会ください。

■払込方法

次の郵便局または銀行等の口座で払込ができます。また、問い合わせ先に直接持参もできます。

- ①郵便振込口座番号 01330・264098 口座名 はぎ大学支援市民基金
 - ②山口銀行秋支店 普通預金 6191006 口座名 はぎ大学支援市民基金
 - ③萩信用金庫本店 普通預金 0438892 口座名 はぎ大学支援市民基金
 - ④萩市農業協同組合秋支所 普通預金 4061908 口座名 はぎ大学支援市民基金
- ※①は全国の郵便局（払込手数料は基金側負担）、②③は他の支店・支所等からでも払込できます（同一金融機関であれば払込手数料はいずれも免除）。
- ※①④以外の金融機関からの払込など、窓口で手数料がかかる場合は、手数料を差し引いた額を「文書扱い」で払込ください。

■問い合わせ 萩商工会議所
 (0838・25・3333)
 または萩市企画課
 (0838・25・3131)

平成12年度 萩国際大学 学生募集

【平成12年度学生募集】

萩国際大学では、来年4月に入学する学生の入学試験が始まっています。

平成12年度の学生募集は、国際情報学部国際学科140名、経営情報学科160名で、合計300名です。入学試験の日程については下表の通りです。入学試験は、全試験とも萩国際大学で実施されます。

【資料請求・問い合わせ】 〒758-8585 萩市椿東浦田5000 萩国際大学入試センター(0838・24・4000)へ。萩国際大学ホームページアドレス：URL <http://www.hagi.ac.jp>

入試区分	選抜方法	出願期間	試験日	可否発表日	入学手続締切日
推薦入学試験	自己推薦B	12月1日～12月8日	12月13日	12月17日	12月24日
	自己推薦C	3月6日～3月27日	随時	随時	3月31日
一般入学試験	A日程	1月6日～1月27日	2月1日	2月4日	2月14日
	B日程	1月28日～2月26日	3月3日	3月6日	3月14日
	C日程	3月6日～3月24日	3月27日	3月28日	3月31日
私費外国人留学生入学試験	書類選考	1月6日～1月27日	随時	随時	2月14日

平成12年度入試区分・入試日程

全館に電子カルテを導入!!

萩市民病院

来年4月にオープンする萩市民病院全館に電子カルテを導入します。全館で電子カルテ化するのは全国でも珍しく、萩市の医療も近代化への第一歩を踏み出します。

来年4月からオープンする萩市民病院には、まだ全国でも少ない全館電子カルテ化が導入されません。これは、院内のホストコンピュータと端末を回線をつないで、あらゆる場所で患者のカルテを参照できるようにするものです。また、他病院とも回線を介して重病患者の診断や検査データの

交換ができるようになります。医師が患者を診察しながら所見や検査内容を端末から入力すると、即座に必要な情報が担当部署に届き、患者とカルテの内容を確認することができます。また、コンピュータには、レントゲン画像や検査結果も蓄積され、以前からの比較や結果をグラフや表にすることもできます。



建設中の萩市民病院（萩・健康維新の里）

検査、薬局、保険計算などの部門でも患者の個人データを自由に参照して情報の共有化を行うほか、萩市の離島見島や、宇部市の山口大学付属病院ともネットワーク化し、情報の交換をすることが計画されています。来年4月のオープンを目指して工事を進めている萩市民病院の建設は11月末に完了し、これから本格的に職員の実地研修や医療機器の搬入など、開院への準備が行われます。

来年4月から情報公開開始

「自然環境の保全」に関する法人情報も公開

萩市情報公開市民懇話会（北村知紀会長）の提言を受けて定めた「萩市情報公開条例」が、9月萩市議会議定例会において可決され、来年4月から施行することとなりました。この条例は、市民の「知る権利」を強調した前文を設け、市の情報だけでなく、市が2分の1以上出資している法人や、市が補助金等を交付している団体で、条件に該当する情報についても提出を求めて開示されます。また、「自然環境の保全」のためなら、民間の法人情報でも開示されます。情報開示は、萩市在住の方のみに限らず、どなたでも行うことができ、手数料は無料です。複写等が必要な場合のみ実費を負担するようになっていますが、経済困窮者など特別な理由がある場合には、減免措置がとられます。「知る権利」や「出資法人の情報公開」を検討している自治体はありますが、「自然環境の保全」にまで踏み込んだ条例は、おそらく県内初めてで、さらに地域と密着した行政が展開されます。

県漁連の製氷・冷凍冷蔵工場完成

萩魚センターの建設が予定されている小畑の埋め立て地に、山口県漁業協同組合連合会の製氷・冷凍冷蔵工場が完成し、9月2日に竣工式が行われました。



県漁連の製氷・冷凍冷蔵工場

和風の消防署庁舎 移転新築工事順調

国道191号の拡幅事業に伴い、現消防署庁舎の後ろに建築中の新庁舎は、ほぼ外観がわかるほど出来上がりました。新庁舎は11月中に完成します。



新築工事中の消防署庁舎

萩高陸上部長嶺くん アジア大会入賞



萩高等学校陸上部の長嶺裕貴くん（3年生）が、9月30日から10月3日にシンガポールで行われた「第8回アジアジュニア陸上選手権」の3000m障害に日本代表として

出場し、9分44秒60の記録で8位入賞を果たしました。長嶺君は一周目に障害を飛び越えた際、足首を捻挫しましたが、気力で完走しました。ゴールした時は足が痛くて動けなかったそうです。帰国後、「満足できるレースではありませんでしたが、初めての海外遠征でいい経験になりました。熊本国体の選手として頑張ります。」とコメントしていました。

会津若松市制百周年 「会津探訪の旅」

今も戊辰戦争で長州・萩へのこだわりを残す福島県会津若松市が今年、萩よりも33年早く市制百周年を迎えました。これを記念し、萩商工会議所に事務局をおく「萩会津友交会」が「会津探訪の旅」を企画。一市民として参加し、9月27日から3日間初めて会津の地を訪れた北村知紀さんに寄稿いただきました。

■いつの間にか祝百周年の訪問団、歓迎うける

この会津訪問団は総勢29人でおよそ3分の1が市民。団長は萩会津友交会長でもある山縣喜一萩商工会議所会頭だった。たまたま今年、友交会ができ会津で最初の萩観光物産展が開かれて10年という節目にもあたっている。

さて、福島空港におり立ち、ガイドさんが手にした横断幕を見て「あれ、まあ。そこには「祝会津若松市制百周年会津訪問団萩会津友交会」とあった。

わざわざ遠くから市制百周年をお祝いに来られた萩の皆さん、ようこそーというわけだ。萩の方では「お祝い」とか「祝」の言葉は聞かされなかったがと思っっていると、以後、ホテルや観光施設などどこへ行ってもこの調子。

礼を知る会津人が遠路やってきた祝い客を粗末にするはずはなくどこでも大いに歓待を受けた。

■和解話は出す

二日目、山縣団長ら代表9人が会津若松市長と商工会議所会頭を



会津訪問団の皆さん 飯盛山・白虎隊士の墓前で

表敬訪問。どんな話ができるか、関心をもったが、いわゆる両市の和解話は出なかった。まあ、これは訪問団の性格上、当然だったかも知れない。

今年4月に初当選という菅家一郎市長は44歳。いかにも若々しくにこやかだが、なかなかしっかり者だ。山縣団長のこれまでの経緯説明を含めたあいさつに、「いい関係で民間レベルで交流をされて

いて、いいことだなと感じています」といなし気味の応対。結局、今後もしよきライバルとして競争し協調していきたいと思います。

商工会議所の方はお互いが何度も行き来し、交流をかさねているだけに、和やかな雰囲気です。本首の会話があり、印象的だった。

■白虎隊自刃の画を持参、墓前供養

萩市唐樋町の地藏堂にまつられている石版画「白虎隊自刃の図」を持っていき、飯盛山の白虎隊十九士の墓前に供え、一同、香華をたむけお参りした。白虎隊は戊辰の役、会津の悲劇の象徴だから、これは今回訪問団の大切なお勤めの一つだった。

着いたその足で行き、続いて西軍墓地へまわり、会津で戦死した長州藩兵士の墓に参拝した。

最終日、若松城（鶴ヶ城）天守閣で開催中の百周年記念特別展「幕末の会津と若松市の成立」を観覧。萩市郷土博物館からも絵2点を貸し出した歴史資料展である。

幕末、会津藩の運命を決した2通の書、藩主松平容保の忠誠をよみする孝明天皇の御製と天皇急死の後長州藩に下った会津桑名追討の密勅が史上初めて並んで展示され、会津人の歴史への思いの深さを語っているようだった。

元新聞記者・北村 知紀

郷土博物館 40年の歴史に幕

国道の拡幅で2004年移転新築



1959年開館の現在の萩市郷土博物館は、前を通る国道191号の拡幅工事で解体が決まったため、一時閉鎖されました。

毛利輝元が萩に開府してから400年にあたる2004年11月をめどに、別の場所に新しい博物館がつけられます。

萩市では、来年4月に準備室を置き、専門の委員会で新博物館の規模や展示内容などを決めます。新しい場所は、萩市堀内の市立病院移転後の跡地が最有力です。

また、県の明治維新記念館も誘致したいと考えており、展示物などで新博物館との兼ね合いをどうするか検討していました。しかし、県の構想は具体化まではまだ時間がかかりそうなので、博物館計画を先行させることにしました。

萩市郷土博物館は、1959年の創設。明治維新の歴史資料や動植物の標本、民俗資料など約7万7000点を収蔵しています。収蔵品は、新博物館ができるまで近くの旧山口法務局で保管されます。

10月3日の閉館に合わせ最後となる記念特別展「描かれた萩 古地図・絵画に見る萩」が開催されました。

中でも、初公開された明治初年の松下村塾を描いた彩色絵図は貴重な資料です。松下村塾と隣接する吉田松陰の実家・杉家との間は、現在では境界はありませんが、当時は生け垣で明確に仕切られ別の敷地だったことなど、当時の様子がわかります。



明治初年松下村塾付近平面図



たちばな会広島支部

たちばな会広島支部総会

たちばな会広島支部総会を、9月18日午後6時30分から来賓、会員あわせて約30名の参加により、広島市の広島シティホテルで開催しました。

最初に吉原会長が「支部長を今期限りで退任しますが、新支部長のもと更にこの会が盛り上がるよう頑張ってください。」と挨拶し、続いて能美校長先生など多数の来賓から挨拶を頂いたあと、役員改選が行われ、友永支部長ほか新役員が選任されました。

懇親会では、まず参加者全員が自己紹介を兼ねた近況報告を行い、次にカラオケ、お楽しみ抽選会で会場が最高潮に達したあと、出席者全員で懐かしの校歌を合唱しました。

最後に、新役員の品川理事が「皆さんとの来年の再会と、新しい顔ぶれが増えることを期待します。」と挨拶し、総会が終了しました。



東京指月会第32回大会

東京指月会第32回大会

10月16日午後3時30分から日本工業倶楽部に於いて、東京指月会第32回大会が会員、来賓約200名の参加のもと盛大に開催されました。

冒頭、三隅田会長から「東京指月会が日本工業倶楽部の現在の建物で行われるのは今回が最後となります。」と挨拶があり、続いて来賓の挨拶の後、会務報告の中で、日本工業倶楽部の建物が解体されることもあり、来年度は萩商、萩工、萩光塩、萩高の4校による合同の同窓会の開催について会員の承認が得られました。

懇親会では、今年の引受期代表の小林克司さん率いるバンドが奏でるアンデスの音楽の心地よい音色を耳にしなが、会場のあちこちで1年ぶりに再会した同級生たちが、昔話に花を咲かせるなど、最高潮に達し、最後に出席者全員で開校記念歌を声高らかに歌い第32回大会が終了しました。

第34回たちばな会総会

10月16日、第34回の「たちばな会総会」が来賓、会員あわせて約200名の出席により萩商業高校体育館で盛大に開催されました。当日は、川原輝彦たちばな会理事長（31年卒）の挨拶で開会し、続いて能美龍夫校長の挨拶、来賓の皆さんから祝辞をいただきました。

今年の引き受けは、昭和38年・48年・58年・平成5年卒業の皆さんで、引受期代表委員長は、大野浩嗣さん（38年卒）でした。

能美校長先生の近況報告では、耐震工事を含めた大規模改修工事が昨年末に終わったこと、来年度から学科改編を行うことが報告されました。商業科が「総合ビジネス科」に、情報処理科が「国際情報科」に改編されます。また、部活動では、ワープロ部・電算部・簿記部が全国大会に出場しました。

来年度は、萩商業高校の創立90周年を迎えます。



たちばな会



山口指月会

第50回山口指月会総会

50周年記念の「山口指月会総会」が、10月18日来賓、会員あわせて約110名の参加により、山口市の翠山荘で盛大に開催されました。

山口指月会は、今から50年前の昭和25年3月に約30名の出席により創立総会が開催されました。現在、会員数1300名に及ぶ大規模な会に発展しています。

総会の後、懇親会の開会で河野通弘会長（秋中34期）が挨拶、続いて来賓として最近、文部総括政務次官に選任された河村建夫衆議院議員（秋高13期）、野村秋市長（秋高15期）の挨拶を頂きました。

野村市長は最近の秋の話題として、松陰のテレビドラマ化、萩焼400年パリ展などについて紹介されました。

来年度は、萩高校の創立130周年を迎えます。

たちばな会・からたち会中京支部総会

たちばな会・からたち会中京支部総会が名古屋市中村区の北京料理百楽で、来賓、会員約30名が出席して賑やかに開催されました。

総会は、たちばな会藤野副会長、からたち会河辺会長の挨拶で始まり、続いて萩から参加の萩商、萩工の校長、同窓会関係者等来賓から学校や萩の近況報告の後、野村からたち会中京支部副支部長の乾杯の発声により、お楽しみ懇親会となりました。

懇親会では恒例の出席者全員の他人紹介が行われ、時効となった学生時代の悪戯やエピソードなど交えた紹介に、会場は大爆笑がおこる等終始和やかな雰囲気につつまれていました。

最後に参加者全員で、萩商、萩工両校の校歌を声高らかに歌った後、来年の再会を約束して、散会となりました。



たちばな会・からたち会中京支部総会

姉妹都市との交流が深まっています！

萩市は、友好交流を目的として、静岡県下田市（昭和50年締結）、神奈川県鎌倉市（昭和54年締結）、石川県輪島市（平成2年締結）、韓国蔚山広域市（昭和43年締結）の4つの都市と姉妹都市を締結しています。

萩市民号での訪問や文化交流など、姉妹都市との交流が深まっています。

■鎌倉市

○萩市民号

今年、姉妹都市締結20周年を迎え、10月上旬に萩市民号一行71名が、鎌倉市を訪問しました。

鎌倉市は人口約17万人で、市政施行40周年の市民アンケートにより姉妹都市を提携したい都市の第一位となった萩市と姉妹都市の提携をされました。

今年、松陰先生没後140年の年でもあり、松陰先生ゆかりの寺瑞泉寺を訪れ、普段は見ることでできない「松陰先生の手紙」や「竹院和尚の詩」を見せていただきました。

そして、竹内鎌倉市長をはじめ鎌倉市の皆さんとの楽しい交流の

ひとときを過ごしました。

今回の萩市民号は、両市の交流を深めると同時に、遠く140年前の松陰先生の姿に思いを馳せた訪問となりました。なお、11月には鎌倉市民号が萩市を訪れる予定です。



鶴岡八幡宮で

○萩・鎌倉市民合同「第九演奏会」

姉妹都市締結20周年を記念して、11月7日（日）に鎌倉芸術館で、11月28日（日）には、萩市民館で萩・鎌倉市民合同「第九演奏会」が開催されます。

鎌倉市へは、萩から約20名の合唱団が参加する予定です。鎌倉市から来られる「鎌倉椿会」は1994年、萩の第九コンサートに招待された鎌倉市民が、その日の感動を記念して結成した会です。

問い合わせ 萩市教育委員会文化課（08388・253131）

■蔚山広域市

萩市山田地区に伝わる山田神楽舞が、蔚山広域市で開催された第33回處容文化祭に招待され、10月9日と10日の両日、舞を披露しました。

出演したのは、山田神楽舞保存会（武田寛一会長）の13人で、日本からの参加は初めてということでした。

会場では、多くの観客が見守る中、見事な舞を披露し、大きな拍手が寄せられました。

處容文化祭は、蔚山広域市を代表する民俗芸術の祭典で、各種民俗行事、仮装行列、市民体育祭などが行われ、毎年30万人の人出で賑わうということです。

両市は、蔚山広域市からの研修生の派遣や萩市民号での訪問などを通じて、交流を深めています。



公演の様子

第1回萩おもてなし大賞受賞者

観光都市・萩では、心温まるおもてなしが求められています。

そこで、萩ケーブルネットワーク（株）が、市民の間で一層おもてなしの心を育成しようと、初めて「萩おもてなし大賞」を設け、その表彰式が10月3日、行われました。

個人、団体合わせて56件の応募があり、選考の結果次の皆さんが受賞されました。

□萩おもてなし大賞
萩観光ボランティアガイドの会（会長 宮内紀一）
受賞理由 松陰神社などでボランティアガイドをさ

れ、評判も大変良い。観光地萩のイメージアップに大きく貢献している

□萩おもてなし賞

きれいなまち萩推進市民会議（代表 世良眞名夫）、つばきの館越ヶ浜漁協婦人部（代表 木村靖枝）、岡 茂子（細工町）、村田政明・芳枝夫妻（雜式町）、陽 繁子（椿町）

□山口県知事賞

山田久男（見島）

□萩市長賞

ホストファミリーの会（代表 池本和人）

□萩市議会議長賞

萩浜崎しつちよる会（会長 小茅 稔）

9月21日の1日雨量

史上最高の255mm

9月20日夜半から21日にかけて、台風18号の影響を受け停滞中の秋雨前線が活発化し、萩市では雷を伴った突出した大雨となり、市内各所で多数の被害が発生しました。

この大雨の20日の降り始めからの総雨量は270.5mmで、1日雨量としても1949年の萩測候所開設以来最高となる255mmを記録しました。特に21日午前6時から1時間雨量は88mmを記録し、6月29日早朝の62mmを超えるものでした。

このような記録的な集中豪雨の

ため、一時的ながら市内各所の広範囲にわたり冠水し、家屋の床上床下浸水、路面崩壊など多大な被害をもたらしました。



明倫小学校前も水没



地酒列車「北前船号'99」

9月4日、お座敷列車で山陰路の地酒や特産品を味わう地酒列車が、東萩駅から京都駅へ向けて発車しました。全国各地から酒好き約100名が参加し、地酒や料理のほか、伝統芸能も披露され、1泊2日、山陰の旅を満喫していました。



萩・魚まつり

10月10日今年も県漁連萩地方卸売市場で萩・魚まつりが開催されました。萩の瀬つきアジやイカなど新鮮な魚介類が破格の安値で販売され、また、魚のつかみ取りやトラックとの綱引きなどのイベントも行われ、大勢の人で賑わっていました。

イベント

プレイバック



松陰没後140年記念事業

明治維新の先覚者であった吉田松陰の没後140年を記念して、萩市では、多彩なイベントが行われました。10月16日に行われたミュージカル「SHOW IN」は、大盛況で、萩市民館は観客で埋め尽くされました。松陰の命日である10月27日には、松陰シンポジウムが開催され、「吉田松陰の教育に学ぶ」と題した基調講演と「松陰を語る」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

国際文化シンポジウム

新サンライフ萩の柿落としとして9月11日、国際文化シンポジウム「外交の窓in萩」が開催されました。「新時代の国際文化交流」と題して、国際交流基金理事長の藤井宏昭さんの基調講演が行われ、続いて、「歴史・文化・教育による国際交流ー萩からの発信ー」をテーマにパネルディスカッションが行われました。



萩市共通商品券発売開始

萩市内での消費促進を図り、低迷する地域経済を活性化させようと10月31日から萩市共通商品券協同組合（刀禰勇理事長）が萩市共通商品券の発売を開始しました。

この商品券には、500円券と1000円券の2種類があり、大型店や小売店、タクシー、ガソリンスタンドなど市内の加盟店304店（10月末）で利用できます。

商品券のデザインは一般公募し、萩市出身で奈良市在住の藤木陽子さんの作品を採用しました。

この商品券の特色は、使用期限がなく、市内の加盟店であればどこでも、何にでも利用でき、使いやすいう釣りができることです。

販売は、萩商工会議所内の組合事務所や市内61店の販売所で行っています。



上から500円券、1000円券

ミス萩観光コンパニオン・萩観光シンポルレディー決定！

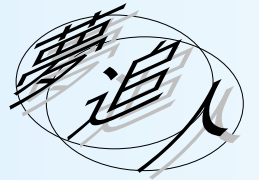
平成11年度のミス萩観光コンパニオンと萩観光シンポルレディーが決まり、10月1日、萩市観光協会認定書の交付式が行われました。

ミス萩観光コンパニオンには、金子江里さん（県立萩美術館）、三浦優子さん（萩信用金庫）が選ばれ、萩観光コンパニオンには、岡野慶子さん（萩市役所）と吹上美子（萩市役所）さんがそれぞれ選ばれました。

2年間、萩市のPRに努めます。



左から金子さん、三浦さん、岡野さん、吹上さん



なかはらのりあき 中原憲明さん

今回は、8月に完成した映画「わたしの見島」の配給を担当されている中原憲明さん（萩高27期卒）に、映画やこれからの夢などについてお話を聞きました。



中原憲明さん

18月に見島を舞台にした映画が完成しました。それまでの経緯は、10年前に見島で民俗調査をした時、初めて興味を持ち、この島を記録したいと思いました。その後、映画祭で映画監督の原一男さんと

出合い、実践として見島を舞台にした映画を撮ればいいなと思いました。98年には、萩と見島を結ぶ高速船「おにようず」が就航し、島の生活も変わってくるので、記録に残すにはちょうどいい時期なのではないかという思いがありました。幸いにも、監督が離島に興味を持って、見島を舞台にした映画をCINEMA塾で製作するようになりました。

「なぜ、見島なのですか。」
地方だからこそ、日本という社会が凝縮されている。また、隔離されている離島だから、昔ながらの伝統や風俗が多く残っている。そういう点で、大変興味深い島だと思います。
「これから映画「わたしの見島」をどのようにしていきたいですか。」
まず、できるだけ多くの人にこの映画のことを知ってもらうことが必要です。そして、離島も含め、全国津々浦々で上映したいと思っています。
現在、東京と山口での上映が決まっています。大阪、名古屋、札幌でも上映計画があるので、お近くで上映される時には、ぜひご鑑賞ください。
「これからの夢は。」

萩市で、人として「文化」というものを大事にできる拠点ができたらいいなと思います。これは、美術館や図書館など既存のものとの連携しながら、将来に展望があるような、もっと前衛的な文化活動ができる拠点という意味で。
今の萩にも、次の時代に力を発揮できる人材がいるはずですよ。そういう人を助成する拠点があれば、チャンスもあると思います。
私は鉄道事業に非常に興味があるのですが、それに学ぶ点はいっぱいあります。公共交通と今の社会は密接なつながりがあります。海外では、国が違っても鉄道は全部つながっています。文化もレールのようなものだと思います。
■プロフィール



日本海から直行の新鮮な魚を店先で干物にして販売 (0838・22・7585)

1956年、阿武郡むつみ村生まれ。フリーカメラマンをしながら、萩反射炉前で海産物製造直売の店「なかはら」を営む。HAGI世界映画芸術祭、高速船「おにようず」の就航、萩駅舎の整備などに関わっている。
☎0838・22・1565

平成12年用年賀はがきに 見島の鬼揚子

11月1日に発売開始の、平成12年用年賀はがきの山口県地方版に、見島の鬼揚子が描かれています。

この年賀はがきは、中国五県の郵便局で発売されています。2000年のお正月に、ふるさと萩・見島のお正月を描いた年賀状を、出してみては？



「見島の正月」 寺田晴美画

自適 三輪栄造展

7月に、肝臓ガンのため52歳の若さで亡くなられた萩焼作家・三輪栄造氏の遺作展が、横浜で開催されます。
この遺作展の名称は、栄造氏の戒名「自適院椿窓栄居士」から名付けられました。
□会期 11月2日（火）～8日（月）
□会場 横浜そごう6階美術画廊



金銀彩菱水指

「わたしの見島」の中には、日本の原風景が感じられる。我々が遠い祖先から受け継いできたはずの大事な心を、ここに見る思いがある。
だが、この見島も他の島しょ部と同様に、多くの悩みや課題を持っていて。最も大きな問題は、若者は中学を卒業すると進学等で島を離れ、そして大部分の者が二度と島へ帰って来ない。このような厳しい現実の中で、この映画の後半部分に、中学を卒業する若者達が、一人づつ自分の将来と見島とを語るシーンがある。見島と自

「わたしの見島」公開に寄せて

分の将来を結びつけ、将来見島に帰り、見島で働くこと堂々と語る若人の姿を見て思わず涙してしまっただ。この見島の姿は、とりもなおさず全国の過疎に悩む各地の状況を代弁しているようである。今、離島から若者が流出し、過疎が進み、地方が衰退していく中で、映画の中の中学生の姿は何か元気が出る予兆を感じるのには期待のし過ぎであるうか。（パンフレットより抜粋）

萩市長 野村興兒

これからの上映予定
◆東京
とき 11月13日～26日
ところ BOX東中野（中野区東中野4-4-1）ポレポレ坐ビル地下JR東中野駅徒歩2分
☎03・53389・6780
◆山口
とき 11月28日（日）午前11時、午後1時10分、3時20分
ところ 山口市はるるプラザ山口
山口映画友の会・児玉
☎0839932・4151
◆大阪（平成12年2月予定）



左から三輪休雪さん、陽信孝さん、浦上敏朗さん

県立秋美術館開館3周年 浦上敏朗名誉館長に感謝する会

県立秋美術館・浦上記念館の開館3周年を記念して、10月7日同館エントランスホールに秋美術館設立のきっかけとなった浮世絵や東洋陶磁の寄贈者、浦上敏朗名誉館長の功績を称える顕彰プレートが設置されました。除幕式には、二井県知事も出席しました。

また、市内のホテルでは、萩市長、市議会議長、萩商工会議所会頭が発起人となつての「浦上敏朗先生に感謝する会」が開かれまし

た。萩焼作家で人間国宝の三輪休雪さんら約150人が出席しまし



ふるさと切手

萩を舞台にふるさと切手発行

絵本作家の安野光雅さん

中国郵政局では、山陰の城下町、萩市と島根県津和野町の風景をデザインした80円のふるさと切手「萩・津和野」を10月13日から発売しています。

原画は、津和野町出身の絵本作家で、「繪本平家物語」や司馬遼太郎の「街道をゆく」の挿絵などで知られる安野光雅さんが描きました。

萩市の図柄は、呉服町にある国指定重要文化財の「菊屋家住宅」とその前を自転車に乗って散策する修学旅行生、津和野町の図柄は、3月から11月までの土、日曜日にJR山口線の小郡駅から津和野駅までを走る「SLやまぐち号」がデザインされています。

発行枚数は、それぞれ700万枚で、中国地方の郵便局と全国の主要郵便局で発売中です。

萩の街並みを描いた美しい切手を見て、多くの人が萩を訪れるきっかけになるでしょう。



顕彰プレート除幕式

浦上さんは大正5年萩市生まれ。昭和18年秋中卒(43期)。平成5年5月、長年にわたって蒐集した貴重な浮世絵や東洋陶磁など2千数百点を県に寄付。翌年に紺綬褒章を受賞し、萩市名誉市民にも。(株)ジャパンアートコンサルタンツ社長

山口県立秋美術館・浦上記念館だより

11月〜平成12年3月の
企画展

【開館3周年記念特別展覧会】

☆よみがえる漢王朝—2000年の時をこえて

11月28日(日)まで

西安・漢代長安城址の日中共

同発掘調査を契機に企画された本展覧会では、長安城創建期の瓦や俑のほか、洛陽出土の銅鏡、

満城漢墓出土の武器類や金縷

玉衣など中国各地の文物97件を展示し、アジアに君臨した大帝国「漢

王朝」の栄光を紹介します。



緑釉 楼閣に見入る入場者

シリーズ山東文物2

☆黄河の酒神展

12月4日(土)〜平成12年3月20

日(月)

中国・山東省の文物を紹介するシリーズ2回目は、大汶口文化から漢代までの、酒器や醸造に用いた容器など約70点を展示します。

儀式の中でも特に重要な役割を果たしてきた酒文化を通じて、黄河下流域に華開いた古代文明の側面をみていきます。



卵殼陶高柄杯

シリーズ山東文物2

☆発掘された日本列島99

12月4日(土)〜平成12年1月9

日(日)

毎年全国各地で一万件以上の発掘調査が実施されていますが、多くの人々がこれらを実際に見る機会はありません。この展覧会は、最近特に注目された出土品を各地から集めて展示し、埋蔵文化財に親しんでもらおうとするものです。全国7会場で開催され、黒塚古墳(奈良県)から発見された多数の青銅鏡や、山陰地方屈指の規模を誇る妻木・晩田遺跡群からの出土品などが展示されます。

○入場料 一般1100円、学生900円、高校生以下無料

※前売り、20人以上の団体は各200円引き。

○開館時間/午前9時〜午後5時(入館は午後4時30分まで)

情報アラカルト

ー東北地区ー

■幕末の会津と若松市の成立ー近代化への道ー

秋市郷土博物館所蔵資料「七卿都落図画幅」、鳥羽伏見戦争錦絵の2点が展示されます。

とき 11月7日(日) まで

ところ 会津若松市 若松城天守閣郷土博物館

■秋焼作家の展覧会

◇無と有のゆらぎーかたちと形展ー

秋焼作家・三輪和彦の作品が展示されます。

とき 11月18日(木)ー1月23日(日)

ところ 山形市 山形美術館

ー関東地区ー

■「たちばな会関東支部総会

たちばな会関東支部の総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 12月3日(金) 午後6時30分

ところ 東京都港区南青山 はあといん乃木坂(健保会館内)

■下瀬信雄写真展・結果II

写真家・下瀬信雄の作品が展示

されます。

とき 11月16日(火)ー22日(月)

ところ 東京都新宿区 新宿二コソサロン

■秋焼作家の展覧会

◇守繁栄徹古希記念展

秋焼作家・守繁栄徹の作品が展示されます。

とき 11月2日(火)ー7日(日)

ところ 横浜市 横浜三越百貨店

◇第31回日展

秋焼作家・田中秀男、中村真一の作品が展示されます。

とき 11月2日(火)ー24日(水)

ところ 東京都台東区 東京都美術館

◇坂高麗左衛門「SHI-TSU RA-I」

秋焼作家・坂高麗左衛門の作品が展示されます。

とき 11月8日(月)ー30日(火)

ところ 東京都新宿区百人町2-17 益田屋

※PART1 14日まで、PART2 15日から。

◇第6回食のうづわ展

秋焼作家・濱中月村の作品が展示されます。

とき 11月25日(木)ー12月4日(土)

ところ 東京都港区赤坂4-1-1

31 赤坂遊ギャラリー

◇第4回秋・高見世清光作陶展

秋焼作家・高見世清光の作品が展示されます。

とき 11月26日(金)ー12月5日(日) 午前11時ー午後8時

ところ 東京都目黒区 陶芸サロン やまもと(O3-3794-2202)

◇三輪和彦個展

秋焼作家・三輪和彦の作品が展示されます。

とき 11月30日(火)ー12月5日(日)

ところ 東京都中央区 日本橋三越

◇新春の器 守田唐七展

秋焼作家・守田唐七の作品が展示されます。

とき 12月8日(水)ー10日(金)

ところ 東京都豊島区 池袋西武百貨店

◇濱中月村個展

秋焼作家・濱中月村の作品が展示されます。

とき 12月9日(木)ー16日(木)

ところ 東京都港区赤坂4-1-1 31 赤坂遊ギャラリー

◇ワーク2000 兼田昌尚展

秋焼作家・兼田昌尚の作品が展示されます。

とき 1月25日(火)ー30日(日)

ところ 東京都中央区 日本橋三

越

ー信越地区ー

■秋焼作家の展覧会

◇守繁栄徹古希記念展

秋焼作家・守繁栄徹の作品が展示されます。

とき 11月25日(木)ー30日(火)

ところ 上越市 上越大和

◇岡田裕茶陶展

秋焼作家・岡田裕の作品が展示されます。

とき 1月26日(水)ー2月1日(火)

ところ 長野県松本市 松本井上百貨店

ー東海地区ー

■秋焼作家の展覧会

◇守繁徹作陶展

秋焼作家・守繁徹の作品が展示されます。

とき 12月1日(水)ー7日(火)

ところ 名古屋市中区 名古屋三越

◇秋焼作家 三人展

秋焼作家・船崎透、小田光治、松野龍司の作品が展示されます。

とき 11月13日(土)ー21日(日)

ところ 江南市高屋町八幡1-20

ギャラリーくれい

※11月12日オーブンングセラモニーとしてジャズライブ開催。

ー関西地区ー

■秋焼作家の展覧会

◇三人展

秋焼作家・守繁徹の作品が展示されます。

とき 12月14日(火)ー19日(日)

ところ 加古川市 ギャラリーアーテリアム

ー中国地区ー

■広島指月会総会

広島指月会の総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

とき 11月20日(土) 午後4時

ところ 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島

■秋焼作家の展覧会

◇三輪休雪と和彦展

秋焼作家・三輪休雪、三輪和彦の作品が展示されます。

とき 11月4日(木)ー9日(火)

ところ 鳥取市 鳥取大丸

◇卓上の逸品展

秋焼作家・濱中月村の作品が展示されます。

とき 11月5日(金)ー9日(火)

ところ 広島市南区出汐1-3-1 花独楽

◇第46回日本伝統工芸展

秋焼作家・波多野善蔵、岡田裕

の作品が展示されます。

とき 11月18日(木)～12月5日(日)

ところ 岡山市 岡山県立美術館
とき 1月19日(水)～2月6日(日)

ところ 広島市 広島県立美術館

◇守繁栄徹古希記念展

萩焼作家・守繁栄徹の作品が展示されます。

とき 12月9日(木)～13日(月)
ところ 広島市 広島三越

一四国地区一

■萩焼作家の個展

◇守繁栄徹古希記念展

萩焼作家・守繁栄徹の作品が展示されます。

とき 11月16日(火)～22日(月)
ところ 松山市 松山三越

◇第46回日本伝統工芸展

萩焼作家・波多野善蔵、岡田裕の作品が展示されます。

とき 1月6日(木)～16日(日)
ところ 高松市 香川県文化会館

◇守繁徹作陶展

萩焼作家・守繁徹の作品が展示されます。

とき 1月6日(木)～11日(火)
ところ 新居浜市 新居浜大丸

■「近代化の軌跡―幕末佐賀藩の挑

一九州地区一

戦―

萩市郷土博物館所蔵資料「蒸気車模型興丸号」、
「菊花章官軍指揮旗」の2点が展示されます。

とき 11月28日(日)まで

ところ 佐賀市 佐賀県立美術館

■萩焼作家の個展

◇守繁栄徹古希記念展

萩焼作家・守繁栄徹の作品が展示されます。

とき 11月23日(祝)～28日(日)

ところ 鹿児島市 鹿児島三越

一山口県関係一

■第5回山口県障害者芸術文化祭

切り絵作家・上田豊治の作品が展示されます。

とき 11月14日(日) 午前11時～午後3時

ところ 新南陽市 新南陽市ふれあいセンター

※創造的活動の実演指導(手芸部門・切り絵)を行います。

一萩市関係一

■秋の萩焼まつり

切り絵作家・上田豊治の作品が展示されます。

とき 11月19日(金)～23日(祝)

ところ 萩市東田町 田町商店街

テレビ情報

■「ふるさと発信シリーズ」
WOWOW

萩市製作のハイビジョン番組「松陰と松下村塾の若者たち」を維新をはぐくんだ町・萩」を放送

放映日 11月4日(木) 正午～午後1時

■「やきもの探訪・夢幻の世界への誘い」三輪和彦氏
「NHK衛星第二」

ジャズピアニスト・近藤大地氏が萩焼作家・三輪和彦と対談し、作陶技法やノウハウ、彼のキャラクターを聞き出す。

放映予定日 平成12年1月14日(金) 午後11時～11時30分、16日(日) 午前10時～10時30分

■「蒼天の夢」松陰と晋作・新世紀への挑戦」NHKハイビジョン、NHK総合
吉田松陰と高杉晋作を中心としたNHK正月時代劇(本号2Pを参照)。

放映予定日 ハイビジョン 平成12年1月1日(土)、総合テレビ3日(月)

書籍紹介

■「山河ありき・明治の武人宰相 桂太郎の人生」古川薫著・文芸春秋

軍人として陸軍大将、政治家として3度首相の座に就いた桂太郎は日本癌研究会、地学協会、日本赤十字社、拓殖大学の創立に尽力した。その激動の生涯を描く、拓殖大学創立100周年にあわせて書き下ろした長編。

定価 1524円

■小冊子「吉田松陰と松下村塾生」吉田松陰没後140年記念事業実行委員会発行

吉田松陰没後140年を記念して開催された肖像パネル展「吉田松陰と松下村塾の解説目録」として発行された。塾生38名の略歴や事績などを簡潔にまとめ肖像も掲載している。巻末には収録した人物全員の生没年を記した一覧表もついている。

販売価格 200円

問い合わせ 萩市郷土博物館(0838-25-6447)

■「CD-ROM世に棲む日日」NHK正月時代劇「蒼天の夢」の原作がCD-ROM化されて12月3日に定価5800円で発売予定



問い合わせ (株)フラッグシップ (03-3259-2655)

■「月間タウン情報やまぐち」ザメディアジョン

11月創刊の山口県全域の情報を集める県内初のタウン誌。

定価 380円

■「中国地方のまち並み-歴史的まち並みから都市デザインまで」日本建築学会中国支部、中国まち並み研究会

中国5県の200の特徴的なまち並みを写真や地図付きで紹介。

定価 1900円

問い合わせ 中国新聞出版グループ (082-236-2250)

■「平田弘史傑作集①・おのれらに告ぐ」平田弘史・日本文芸社

時代物をテーマとした劇画作家として定評のある平田弘史の傑作集。吉田松陰をテーマにした劇画「吉田松陰」が第8話に掲載されている。

定価 1223円

幕末・維新ごぼれ話

安政6年（1859）8月23日、会津藩士秋月悌次郎が同藩士土屋鉄之助とともに萩を訪れました。

秋月は天保13年（1842）19歳の時、江戸に上り、弘化3年（1846）23歳の時、幕府の学問所昌平塾に入り、舎長までつとめたほどの才学を備えていました。昌平塾時代、秋月は萩藩士で明倫館都講（明倫館学生全体の取締役）をつとめた赤川又太郎（慶応元年—1865、長州再征問題について広島で幕府役人との応接に参与）とも交際しています。その後、秋月は30代半ばの安政6年から万延元年（1860）にかけて、藩命によって学問修業を名目（本来の目的は、各藩の情報収集と思われる）に西日本の各藩を遊歴、各地の政治・風俗を観察し、『観光集』7巻・『列藩名君賢臣事実』10巻を著し、藩主松平容保に呈しました。

明倫館都講の赤川との関係もあったからでしょうか、秋月の学力が明倫館学生たちに多大な利益をもたらすと考えた萩藩は、予定の日数のほか、さらに3日間の滞在延長を要請



秋月悌次郎

会津と萩の交流史 (5)

～会津藩士秋月悌次郎の来萩～

Topics

蔚山広域市からの研修生 アンジョンファ 安鍾和さんが帰国

姉妹都市である韓国・蔚山広域市からの研修生安鍾和さんが、萩市での半年間の研修を終え、帰国されました。

昨年、両市の姉妹都市提携30周年を機に、蔚山広域市から派遣の申し出があり、4月から市の企画課で国際交流などについて研修を受けました。

安さんは「半年間は本当にあっという間でした。帰国しても、萩市の皆さんの友情と愛情は忘れません。今後も両市の交流が深まることを願っています」と話されていました。



女性職員から花束を受け取る安さん

しました。秋月の萩滞在は都合6泊7日に及び、この間秋月は明倫館の学生たちを教授したことは言うまでもないでしょう。

秋月の萩滞在は安政6年8月23日から29日の間でしたが、久坂玄瑞が書き残した日記に、秋月のことが記されています。8月29日、秋月と土屋が萩を去るにあたり、久坂は三隅村（現、三隅町）の沢江まで彼らを見送りました。この時、久坂は土屋とは面識がありませんでしたが、秋月とは初対面だったということです。この日、久坂は秋月らと沢江に同宿し、秋月から土佐藩や会津藩の政治制度などの情報を聞かされ、互いに話し合いました。今8月に知友の口羽徳祐と従兄弟を相ついで亡くした久坂にとつて、秋月との一夜の会話は、憂鬱な気分を慰められたと記しています。明るく9月1日、秋月らは九州へ向けて旅立っていきました。その後、久坂は秋月との交友関係を深めたと見え、文久元年（1861）の久坂の日記に、江戸で秋月と互に行き来していたことが散見されます。

文久2年、会津藩主松平容保が京都守護職に就任するに及んで、秋月はその執務機関となった公用方に登用されました。おそらく秋月が、諸藩の事情に精通していたことが抜擢された理由と考えられます。秋月は薩摩藩士とはかつて会・薩同盟を結び、文久3年8月18日の政変によって萩藩を京都から追放しました。このため、秋月はしばしば刺客に狙われ

ることとなり、このころ京都に潜伏していた山田顕義（当時、市之允）も秋月を暗殺しようとしたという話も伝わっています。一方久坂は、8月18日の政変によって三条実美ら七卿とともに京都を落ちのび、ついで京都の失地回復をめざした元治元年（1864）の禁門の変で戦死してしまいました。

明治元年（1868）戊辰戦争によって会津藩は敗れ、会津若松近郊の猪苗代で謹慎を命ぜられた秋月は、旧知の萩藩士奥平謙輔（明治9年、萩の乱の首謀者として処刑）から一通の書状を受け取りました。秋月は会津藩の寛大な処分を陳情するため、密かに猪苗代を脱走し、越後国（現、新潟県）にいる奥平に会いに行きました。無事に会見を済ませての帰途、秋月はこの時の辛い心情を「行くに興なく帰るに家なし」ではじまる「北越潜行詩」で吐露しています。その後、秋月は東京大学や熊本第五高等学校の教授などを歴任しましたが、第五高等学校時代同僚であった小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）から「神のような人」と呼ばれたといわれています。

萩市郷土博物館 樋口尚樹